

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】平成 19 年 3 月 8 日 (2007.3.8)

【公表番号】特表 2003-532420 (P2003-532420A)

【公表日】平成 15 年 11 月 5 日 (2003.11.5)

【出願番号】特願 2001-582533 (P2001-582533)

【国際特許分類】

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

A 6 1 K 31/704 (2006.01)

A 6 1 K 45/00 (2006.01)

A 6 1 P 13/12 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

C 0 7 K 14/47 (2006.01)

C 0 7 K 19/00 (2006.01)

C 1 2 N 1/15 (2006.01)

C 1 2 N 1/19 (2006.01)

C 1 2 N 1/21 (2006.01)

G 0 1 N 33/53 (2006.01)

G 0 1 N 33/566 (2006.01)

C 1 2 N 5/10 (2006.01)

【F I】

C 1 2 N 15/00 Z N A A

A 6 1 K 31/704

A 6 1 K 45/00

A 6 1 P 13/12

A 6 1 P 35/00

C 0 7 K 14/47

C 0 7 K 19/00

C 1 2 N 1/15

C 1 2 N 1/19

C 1 2 N 1/21

G 0 1 N 33/53 D

G 0 1 N 33/566

C 1 2 N 5/00 B

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 1 月 10 日 (2007.1.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 (i) 配列番号 3 1 に示されるアミノ酸配列を有するヒトアデニンヌクレオチドトランスロケーター 1 ポリペプチド、(i i) 配列番号 3 2 に示されるアミノ酸配列を有するヒトアデニンヌクレオチドトランスロケーター 2 ポリペプチド、および (i i i) 配列番号 3 3 に示されるアミノ酸配列を有するヒトアデニンヌクレオチドトランスロケーター 3 ポリペプチド、を認識する P a n A N T 抗体。

【請求項 2】 配列番号 3 1 に示されるアミノ酸配列を有するヒトアデニンヌクレオ

チドトランスロケター 1 ポリペプチドを認識するアイソフォーム特異的抗体。

【請求項 3】 配列番号 3 2 に示されるアミノ酸配列を有するヒトアデニンヌクレオチドトランスロケター 2 ポリペプチドを認識するアイソフォーム特異的抗体。

【請求項 4】 配列番号 3 3 に示されるアミノ酸配列を有するヒトアデニンヌクレオチドトランスロケター 3 ポリペプチドを認識するアイソフォーム特異的抗体。

【請求項 5】 配列番号 3 0 に示されるアミノ酸配列を有するポリペプチドを含む、Pan ANT 抗体の調製における使用のためのポリペプチドであって、ここで該 Pan ANT 抗体は、(i) 配列番号 3 1 に示されるアミノ酸配列を有するヒトアデニンヌクレオチドトランスロケター 1 ポリペプチド、(i i) 配列番号 3 2 に示されるアミノ酸配列を有するヒトアデニンヌクレオチドトランスロケター 2 ポリペプチド、および (i i i) 配列番号 3 3 に示されるアミノ酸配列を有するヒトアデニンヌクレオチドトランスロケター 3 ポリペプチド、を認識する、ポリペプチド。

【請求項 6】 アデニンヌクレオチドトランスロケター 3 アイソフォーム特異的抗体の調製における使用のためのポリペプチドであって、該ポリペプチドは、配列番号 3 8 に示されるアミノ酸配列を有するポリペプチドを含み、ここで該アイソフォーム特異的抗体は、配列番号 3 3 に示されるアミノ酸配列を有するヒトアデニンヌクレオチドトランスロケター 3 ポリペプチドを認識する、ポリペプチド。

【請求項 7】 アデニンヌクレオチドトランスロケター 2 アイソフォーム特異的抗体の調製における使用のためのポリペプチドであって、該ポリペプチドは、配列番号 3 9 に示されるアミノ酸配列を有するポリペプチドを含み、ここで該アイソフォーム特異的抗体は、配列番号 3 2 に示されるアミノ酸配列を有するヒトアデニンヌクレオチドトランスロケター 2 ポリペプチドを認識する、ポリペプチド。

【請求項 8】 アデニンヌクレオチドトランスロケター 1 アイソフォーム特異的抗体の調製における使用のためのポリペプチドであって、該ポリペプチドは、配列番号 4 0 に示されるアミノ酸配列を有するポリペプチドを含み、ここで該アイソフォーム特異的抗体は、配列番号 3 1 に示されるアミノ酸配列を有するヒトアデニンヌクレオチドトランスロケター 1 ポリペプチドを認識する、ポリペプチド。

【請求項 9】 生物学的試料中のアデニンヌクレオチドトランスロケター (ANT) ポリペプチドの存在を決定する方法であって：

ANT ポリペプチドを含むと疑われる生物学的試料を、ヒト ANT ポリペプチドを認識する抗体と、該抗体の該 ANT ポリペプチドへの結合を可能にするに十分な条件下および時間の間接触させる工程；および

該抗体の該 ANT ポリペプチドへの結合を検出し、そしてそこから、該生物学的試料における該 ANT ポリペプチドの存在を決定する工程

を包含し、ここで該抗体は、以下からなる群：

(a) (i) 配列番号 3 1 に示されるアミノ酸配列を有するヒトアデニンヌクレオチドトランスロケター 1 ポリペプチド、(i i) 配列番号 3 2 に示されるアミノ酸配列を有するヒトアデニンヌクレオチドトランスロケター 2 ポリペプチド、および (i i i) 配列番号 3 3 に示されるアミノ酸配列を有するヒトアデニンヌクレオチドトランスロケター 3 ポリペプチド、を認識する Pan ANT 抗体、

(b) 配列番号 3 1 に示されるアミノ酸配列を有するヒトアデニンヌクレオチドトランスロケター 1 ポリペプチドを認識するアイソフォーム特異的抗体、

(c) 配列番号 3 2 に示されるアミノ酸配列を有するヒトアデニンヌクレオチドトランスロケター 2 ポリペプチドを認識するアイソフォーム特異的抗体、

(d) 配列番号 3 3 に示されるアミノ酸配列を有するヒトアデニンヌクレオチドトランスロケター 3 ポリペプチドを認識するアイソフォーム特異的抗体、

から選択される、方法。

【請求項 10】 前記アデニンヌクレオチドトランスロケターポリペプチドが、配列番号 3 1 に示されるアミノ酸配列を有するヒトアデニンヌクレオチドトランスロケター 1 ポリペプチドである、請求項 9 に記載の方法。

【請求項 1 1】 前記アデニンヌクレオチドトランスロケーターポリペプチドが、配列番号 3 2 に示されるアミノ酸配列を有するヒトアデニンヌクレオチドトランスロケーター 2 ポリペプチドである、請求項 9 に記載の方法。

【請求項 1 2】 前記アデニンヌクレオチドトランスロケーターポリペプチドが、配列番号 3 3 に示されるアミノ酸配列を有するヒトアデニンヌクレオチドトランスロケーター 3 ポリペプチドである、請求項 9 に記載の方法。

【請求項 1 3】 生物学的試料からアデニンヌクレオチドトランスロケーター (A N T) ポリペプチドを単離する方法であって：

A N T ポリペプチドを含むと疑われる生物学的試料を、ヒト A N T ポリペプチドを認識する抗体と、該抗体の該 A N T ポリペプチドへの結合を可能にするに十分な条件下および時間の間接触させる工程；および

該 A N T ポリペプチドを回収し、そしてそれによって生物学的試料から該 A N T ポリペプチドを単離する工程

を包含し、ここで該抗体は、以下からなる群：

(a) (i) 配列番号 3 1 に示されるアミノ酸配列を有するヒトアデニンヌクレオチドトランスロケーター 1 ポリペプチド、(i i) 配列番号 3 2 に示されるアミノ酸配列を有するヒトアデニンヌクレオチドトランスロケーター 2 ポリペプチド、および (i i i) 配列番号 3 3 に示されるアミノ酸配列を有するヒトアデニンヌクレオチドトランスロケーター 3 ポリペプチド、を認識する P a n A N T 抗体、

(b) 配列番号 3 1 に示されるアミノ酸配列を有するヒトアデニンヌクレオチドトランスロケーター 1 ポリペプチドを認識するアイソフォーム特異的抗体、

(c) 配列番号 3 2 に示されるアミノ酸配列を有するヒトアデニンヌクレオチドトランスロケーター 2 ポリペプチドを認識するアイソフォーム特異的抗体、

(d) 配列番号 3 3 に示されるアミノ酸配列を有するヒトアデニンヌクレオチドトランスロケーター 3 ポリペプチドを認識するアイソフォーム特異的抗体、

から選択される、方法。

【請求項 1 4】 前記ヒト A N T ポリペプチドを認識する抗体が、固相に共有結合している、請求項 1 3 に記載の方法。

【請求項 1 5】 前記ヒト A N T ポリペプチドを認識する抗体が、固相に非共有結合している、請求項 1 3 に記載の方法。

【請求項 1 6】 (i) 配列番号 3 1 に示されるアミノ酸配列を有するヒトアデニンヌクレオチドトランスロケーター 1 ポリペプチド、(i i) 配列番号 3 2 に示されるアミノ酸配列を有するヒトアデニンヌクレオチドトランスロケーター 2 ポリペプチド、および (i i i) 配列番号 3 3 に示されるアミノ酸配列を有するヒトアデニンヌクレオチドトランスロケーター 3 ポリペプチド、を認識する P a n A N T 抗体であって、ここで該 P a n A N T 抗体は、

(a) 配列番号 3 0 に示されるアミノ酸配列を有するポリペプチドを、キャリア分子に結合させて、結合材料を得る工程、

(b) (a) の結合材料でウサギを免疫する工程、および

(c) 接種してから少なくとも 7 週間後に (b) のウサギから採血して、血液中の該 P a n A N T 抗体を得る工程、
によって調製される、P a n A N T 抗体。

【請求項 1 7】 配列番号 3 1 に示されるアミノ酸配列を有するヒトアデニンヌクレオチドトランスロケーター 1 ポリペプチドを認識するアイソフォーム特異的抗体であって、該アイソフォーム特異的抗体は、

(a) 配列番号 4 0 に示されるアミノ酸配列を有するポリペプチドを、キャリア分子に結合させて、結合材料を得る工程、

(b) (a) の結合材料でウサギを免疫する工程、および

(c) 接種してから少なくとも 7 週間後に (b) のウサギから採血して、血液中の該アイソフォーム特異的抗体を得る工程、

によって調製される、アイソフォーム特異的抗体。

【請求項 18】 配列番号 32 に示されるアミノ酸配列を有するヒトアデニンヌクレオチドトランスロケーター 2 ポリペプチドを認識するアイソフォーム特異的抗体であって、該アイソフォーム特異的抗体は、

(a) 配列番号 39 に示されるアミノ酸配列を有するポリペプチドを、キャリア分子に結合させて、結合材料を得る工程、

(b) (a) の結合材料でウサギを免疫する工程、および

(c) 接種してから少なくとも 7 週間後に (b) のウサギから採血して、血液中の該アイソフォーム特異的抗体を得る工程、

によって調製される、アイソフォーム特異的抗体。

【請求項 19】 配列番号 33 に示されるアミノ酸配列を有するヒトアデニンヌクレオチドトランスロケーター 3 ポリペプチドを認識するアイソフォーム特異的抗体であって、該アイソフォーム特異的抗体は、

(a) 配列番号 38 に示されるアミノ酸配列を有するポリペプチドを、キャリア分子に結合させて、結合材料を得る工程、

(b) (a) の結合材料でウサギを免疫する工程、および

(c) 接種してから少なくとも 7 週間後に (b) のウサギから採血して、血液中の該アイソフォーム特異的抗体を得る工程、

によって調製される、アイソフォーム特異的抗体。